

平成29年度第2回学校関係者評価委員会の報告

日時 平成29年11月21日 9:30~11:20

場所 加世田高等学校 応接室

出席者 委員 加世田高校PTA会長，加世田中学校長，万世中学校長，大笠中学校長  
金峰中学校長，万世中PTA副会長

学校 校長，教頭，事務長，教務主任，生徒指導主任，進路指導主任，保健主任

質疑応答及び感想・提言（教育活動全般）

- 今後の大学入試関連で、活動履歴を残していく作業は生徒自身が自分で行うように指導していくとどうですか。
  - 高校3年間を通して生徒個人が自分の活動歴を残し、その中からどういう課題があるかを見いだせるように指導していきたいと考えている。それが今後必要な力だととらえています。
- 高校入試の簡易開示の際の本人確認はどのようになされていますか。
  - 受検票と生徒手帳で確認をしています。
- 不登校の生徒は、最終的にどうしていますか。
  - 人との関わりが苦手で、本校への登校が厳しい状況では、本人・保護者と話し合い、通信制の高校へ転学する場合があります。
- 学校行事（文化祭，体育祭等）を見ると生徒達が意欲的に活動する姿が見られる。これは、学習面でも同様で、子どもに寄り添う教育ができていると思われる。
- 学校での学びや研究成果を校区単位の小さな集団で発表する場を設けることで生徒募集につなげることができるのではないか。加世田高校杯サッカー大会は、良い企画だと思う。部活動単位で中学校との合同練習なども実施してみてもどうか。
- 高校としての課題や使命にいろいろな方面から工夫して取り組んでいると思う。新しい大学入試や学習指導要領へのしっかりとした対応をすることで中学への良い影響を与えることになるのではないか。
- 高校生の活躍する姿を実際に見ることが情報発信になる。中学校の要請で中学校へ高校生を派遣することも中学校との連携になるのではないか。
- 部活動の活躍や朝食プロジェクトなどが報道されると加世田高校の活躍の様子が分かる。ホームページやフェイスブックの更新をまめに行い、情報発信をしていくと良いのでは。
- 説明会で参加者が少なかったのも、逆に質問などもしやすく理解できた。
- 自転車通学生の交差点での走行など注意をして欲しい。
- バイク通学生の速度超過が見られる。車についていくと30km/h以上の速度で走行している。速度厳守と事故がないように指導をして欲しい。
- 中学3年生学習会において個人個人に「待ってるよ」というメッセージを送ることができれば、高校の魅力を伝えられるのではないかと思う。
- 小中は義務制としての連携があるが、小中高という地域の学校としての連携を深めていけたらと思う。中学校と情報の共有ができると良いのではないか。
- 高校の入部率が高いのは、高校に魅力があるからだと思う。
- 地域内の中高で意見交換の場ができれば、広域的な人材育成ができるのではないか。
- 小中高がつながりながら、不登校生への支援、学力格差等の情報を共有し中長期的な視点で、話し合えればよいと思う。